



PINK SHIRT DAY

ピンクシャツデー

毎年2月最終水曜日 2015年は2月25日

君の命は
ぼくの命

「ピンクシャツデー」を 日本に 広めましょう!

「ピンクシャツデー」とは

2007年にカナダの学生2人から始まり
2010年時点で欧米を中心に75カ国が
参加している世界的「いじめ反対運動」です。

日本では2012年世田谷で、2013年には北海道は十勝、埼玉浦和、東京世田谷、四国愛媛、九州福岡とボランティアのピンクシャツデーイベントが広がっています。／ポスター原画：中学生女子（元いじめ被害者）



第4回 ピンクシャツデー朗読会 東京・世田谷にて開催！

STOP! いじめ!

【ピンクシャツデーとは?】



カナダの学生2人から瞬く間に75カ国に広まった、いじめ反対運動。

カナダでは政府も動いて、毎年2月最終水曜に開催されています。日本ではまだ知られておらず、世界から取り残されています。そのため、その痛みを知る小説家で詩人の中園直樹さんが、インターネットと活字の両輪で、日本に広め続けています。ピンクシャツデーのこの日に、いじめについて考えましょう。

- 1 日時 2015年2月25日(水) 午後5時半開場、6時~8時
- 2 場所 和室すたじお天野家・鉄腕アミノ塾
- 3 住所 東京都世田谷区等々力6-21-22
- 4 内容 いじめ、学校をテーマとした詩の朗読や体験談など
- 5 参加費 1,000円

*申込希望者は、必ず「世田谷会場」希望と天野までご連絡ください。

*申込 Mail : amano@mui.biglobe.ne.jp

TEL : 03-3704-7026

- ・2007年のカナダでは新学期にピンクの服で登校した9年生(中学3年生)男子がいじめられます。
- ・それを知った12年生(高校3年生)の男子2人がその日の内に50枚のピンクのシャツ等を購入。
- ・メールや掲示板で友人知人等に呼びかけました。
- ・翌朝、2人は呼びかけた人に配り着てもらいます。
- ・この日、呼びかけ以上の学生がピンクの服で登校、学校がピンクに染まりいじめがなくなりました。
- ・誰もが陥るジレンマ「直接止めたら今度は自分がいじめられる」を「多数での意思表示だけ」で解決。
- ・以降、毎年2月最終水曜が学校や職場にピンクを身につけて行くピンクシャツデーとして定着。
- ・2010年には75カ国が参加と、世界へ広まります。
- ・英語圏の人々は人類共通のこの問題のために立ち上がっています。日本でも、被害者の「命」を守るためにピンクシャツデーを広めましょう。

世界中に仲間がいる!

世界中が立ち上がっている!

中園直樹

中園直樹とは

1974年2月、大阪に生まれ、宮崎に育つ。
元・詩人会議常任運営委員。自らの過酷な
いじめ体験をもとにした小説や詩集などを発表。
2002年2月に自費出版の小説『オルゴール』が
学生など若者に支持され小説家となる。
2011年2月にカナダ留学経験のある読者から連絡を受け、
ピンクシャツデーを日本に広め始め、現在に至っている。



中園直樹の著書

(是非お近くの図書館で。手元に必要な際はご購入を)

- ・小説『オルゴール』(文芸社/幻冬舎文庫)、
『星空マウス』、『ピエロで行こう』、『チョコレイトの夜』(文芸社)
- ・メッセージ本『たった一人でがんばっている君へ』(大和出版)
- ・詩集『しんかい動物園』(視点社)
- 中園直樹が紹介されている書籍
- ・図書館本『感動ストーリーズ(2)「くじけぬ心」』(学研)

【公式HP: 詩と小説の小箱】URL : <http://nakazono.nanzo.net/>



会場地図



ホームページはこちら!

「ピンクシャツデーを日本に広めましょう!」<http://pinkshirtsday-nippon.jimdo.com/>

主催:「ピンクシャツデーを日本に広めましょう!」協力:鉄腕アミノ塾・アリスねっと・大衆文藝ムジカ・中園直樹(小説家)